



剣道教室

もちつき大会



よう きなされたね

和島郵便局長 佐藤利夫さん

佐藤さんは、平成四年六月二十三日付で和島郵便局長に就任されました。現在は、三島町から通っておられます。

た、簡保の総会など住民の方と会う機会もありますが、その他にも時間を見つけて村のあちこちをまわり、顔を上げて村の人たちを知りたいです。どこかで会って声をかけてもらったり、私も気軽に声をかけたりはやくそんなことができるようになります。



善意をありがとう
社会福祉に役立ててほしいと、たくさんの方の心あたたまる善意が寄せられました。

人口の動き

Table with population statistics: 11月末人口 5,475人 (-7), 男 2,662人 (-1), 女 2,813人 (-6), 世帯数 1,279世帯(±0)



一九九三年を迎え、いかがお過ごしでしょうか？昨年一年間「広報和しま」をご愛読いただきましてありがとうございます。昨年を振り返ってみると、本当に村民の皆様にご協力いただいた「広報和しま」だったなあと思います。



年頭のご挨拶

和島村長 清野 精合

明けましておめでとうございます。皆様ご健勝で揃って新年をお迎えになりましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は村民各位の御協力によって円滑に村政を推進することが出来ましたことを感謝申し上げます。

昨年も国際、国内それぞれにいろいろなことが起きました。

毎年激動の連続で年を送り迎えておりますが、宇宙の一体化情報化時代では当然のことながら、地球の裏側が裏側でなくなる時代となりました。外国で起きたことがそのままストレートに国内に持込まれ、その事が一般の社会経済生活にも大きな影響を与える時代となりました。

国内においては政治改革評議が繰返されている中で、政財界を捲き込んだ不祥事が多発し、その究明が年を越えて為されることになりましたが、バブル崩壊後の景気低迷もこれらに関連して上昇の気運が見出せないことは遺憾であります。

ます。そしてその事が国税の減収となり地方交付税も三年連続減額補正という事態となりました。

県内においても首長交代という思わざる事態が生じましたが、環日本海時代到来は県民意志の結集と県の位置する現状が変ることなく、その方向に向って進むこととなり益々国際交流の勢いが大きくなることと思われまます。

このような背景をふまえながら村政は村民各位の英知に支えられながら堅実に進展しているものと考えます。

情報発信の基地としての我が村は、良寛の里、八幡林遺跡の村として益々その知名度をあげつつあります。良寛を主人公にしたドラマも本日放映となりますが、之にプラスされることは申すまでもありません。

国際交流の一翼たるタヒチからは、昨年の記念行事に招待があり、一般村民の方々も多数参加されました。昨年オープンしたゆきわり荘も高齢者の皆様は勿論多くの

方々から利用されております。

村の行財政は三年度の決算が示すように堅調に推移しております。さて本年はどのようになりましようか。

昨年第三次総合計画が策定され財政計画と調和をとりながら年次毎に進めることにしたいと考えます。

昨年各地区農協の総会で満場一致合併が議決され、本年三月一日から和島村農協として新しく出発することになりましたが、きびしい農業情勢の最中に力強い限りであります。米の問題、基盤整備等問題は山積しております。新農協によせる期待は誠に大であります。

村が抱えている継続事業は、特環下水、農集下水道を始めとして団体営農道、村道改良事業、海浜公園整備事業等であります。

また長寿社会をふまえての福祉戦略十ヶ年計画もより具体的事業を定めて推進する考えであります。

新しく本年着手する事業としては、役場庁舎の改築であります。

場所は現庁舎の隣地とし、現庁舎は新庁舎後取壊しますが、新庁舎の完成は六年十二月の予定です。

良寛の里に彫刻を主体にした美術館を特志者のご厚意によって建

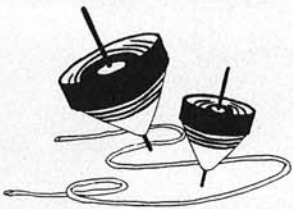
設発注し、六年春完成の予定です。

法の制定によって長岡地域十三市町村が拠点都市地域として指定され、村もその地域分担を担うことになりました。

ゆとりある生活大国の実現を期する為市町村も国県の後を受けて四月から完全週休を実施することになりました。村民各位の御理解をお願い致します。

自然に易しい村づくりを進め、良寛の優遊の心の空間を創出することに努めたいと考えております。

どうぞ村民各位の一層の御理解と御協力をお願いし、併せて皆様の御健勝と御多幸をお祈りして新年のご挨拶と致します。



新年のごあいさつ

和島村議会議長 山田 忠

明けましておめでとうございます。新年を迎え、村民の皆様のご繁栄に対し、心からお慶び申し上げます。

村民の皆様には、平素より村議会に格別のご理解と絶大なるご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年は国際的にみますと、世界の二超大国の様相が一変し、またアメリカの大統領選挙では新人が勝利し、その新政権後には日本への影響も必至と思われまます。

国内においては政治資金関係により、その政治不信が広がり、本県も激震に見舞われ、新知事が誕生したばかりであります。

米の輸入問題に関しても本年は正念場を迎えるものと思われまます。一方発表されております新農政プランにつきましても、国民的理解を得られるものとするよう要望

しなければなりません。

新年度では、引続いで下水道事業など住環境の整備や、新庁舎と保健センター建設、良寛の里施設の充実、宅地造成の販売、再ほ場整備など、更に重要課題であります国道一一六号バイパスと遺跡保存、郷本川改修の促進と、問題は山積しております。

朗報としましては、地方活性化の拠点として、先頃長岡市を中心とした圏域が指定を受け、公共事業の重点配備が期待されるものであります。

私も議決機関といたしましては、皆様と共に、こころ豊かで住み良い村づくりの実現を目指し、皆様の付託にお応えできまますよう、決意を新たにしております。

どうか本年も変わらぬ皆様方のご支援とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

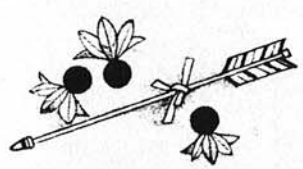
謹んで新年の御祝詞を申し上げます。御健やかに初春を御迎えのことと存じます。

さて、十一月一日「首都圏ふるさとわしま会」総会並びに語り合ふ会も回を重ねること第十二回となりました。例年通り南国酒家原宿店にて行われ、当日は村当局より清野村長を始め、村議会議長、両農協、商工会の代表並びに村役場の職員の方々、一般参加等御出席を戴き、昨年に負けず盛会裏に終了出来ましたことは、ひとえに村当局の御ほねおりの御蔭で御座居まます。郷土の香り豊かな新米コシヒカリ並びに御酒等の御土産を戴き御礼申し上げます。又、のどに自信のある方の歌や、あちらこちらから越後訛りのとび出す懇親の楽しい一刻でした。

郷土和島村にも下水道の普及を見る様な時代になりました環境の改善、過疎への脱脚と活性化を図

られる皆様方の努力には見習うべき所が多々あります。良寛終焉の地和島村「良寛の里」入館者も計画通り、多数見ることが出来ましたことは、誠に嬉しいかぎりです。

近代農・商業化を目指す村の繁栄と益々の発展と併せて皆々様の御多幸を御祈り申し上げます。



明るい家庭づくり運動作文

和島村青少年育成村民会議
和島村教育委員会



たのしかった大こんとり

桐島小一年 か せ あゆみ

なつ休みのとき、おかあさんとおばあちゃんとわたしとはたけにいて、大こんのたねまきをしました。「はやく大きくなってね」といながらまきました。そのときは、こんなに小さなたねが、どんな大こんになるのかなとおもいました。あきになって、大こんが大きくなり、もうとつてもいいころになりました。日曜日、その大こんとりをしました。わたしとおにいちゃん、おかあさんとおばあちゃんではたけにいました。

さいしょに、はっぱをひっぱってぬくのです。ドキドキしながら、ちからをいれて一つひっぱってみたら、すーとぬけました。見てみると、大きな大こんがぬけました。うれしくなって、つきからつきへとぬきました。そして、おばあちゃん、
「小さいのは、ぬかなくていいから。」
といったけれど、わたしはおもしろくて、みんなぬいてしまいました。つゆがあったので、ふくのそでとズボンがびしょびしょになりました。

つぎに、おばあちゃんが大こんをまとめてひもでしばって、わたしとおにいちゃんが、ちかくまでいちりんしゃではこぶごにしました。大こんをはこぶのはおにいちゃんです。わたしには、もちあげるのせたいちりんしゃを、おにいちゃんもちあげてきました。「ちからもちなあ。」とおもいました。わたしは、からのいちりんしゃをまたはたけまでもつてくるのです。やってみたら、とてもかん

たんにできました。なんかいいつたりきりして、ようやくはこびおわりました。おかあさんが、
「二人ともちからもちだね。とてもたすかったよ。」
といいました。わたしとおにいちゃん、かおをみあわせてにっこりわらいました。しばらくして、おとうさんがトラックで大こんをとりにきて、いえまでこんでいきました。おとうさんもわたしたちのことを、「とつてもがんばったな。」
といって、ほめてくれました。つかれたけれど、とつてもたのしかった大こんとり。「またらいいねもつたをしよう。」とおにいちゃんもやくそくをしました。



おかあさんのつづりと

島田小一年 しんぽ あや子

わたしは、おかあさんがつづりについているおいしやさんにいったことがあります。おかあさんは、いっしょにはたらいにいるかんごふさんに、「それ、とつてちょうだい。」
といって、くすりをふくろにつめて、かんじやさんにわたしてました。おかあさんは、一人、二人

と、どんどんつぎの人に、くすりをあげていました。また、先生に見てもらう人に、
「つぎの人、どうぞ。」
と、にっこりしていました。おかあさんは、たいへんなんだなあとおもいました。いそがしいおしごとをがんばってしているおかあさんを見なおしました。うちにか

えつたら、かたをもんでやりたいくらいでした。うちにかえて、おかあさんにきいてみました。
「おかあさん、なんでけつこうたいへんなしごとをえらんだの。」
「あかちゃんから、おとしりまで、たくさんの人たちとしりあえるからだよ。」

「でも、たいへんなんでしょ。」
「そうね。月に二かいか、三かいくらいとまりばんがあるから、子どもたちにさみしいおもいをさせることが、つらいね。それに、しごとは、けいさんやおくすりをまわがわらないようにすることにきをつかうよ。」
おかあさんは、たいへんだけとおいしやさんにかんけいのあるおしごとをしたかったそうです。おしごとでたいへんなのに、うちでもがんばっています。うちにかえてくると、きがえ



がんばってるおじいちゃん

桐島小二年 いがらしともみ

わたしのおじいちゃんは、足がわるいので、めつたに外には、出ません。でも、おじいちゃんは、足がわるくても、いろいろなおしごとをやっています。りょうりをつくったり、りんごのかわをむいたりします。また、わたしが学校から帰ってくると、あめやアイススクリームをくれたりします。

ときどき、つえがはずれて、ころんだりして、あぶないときがあります。とくに、わたしのうちのげんかんは、広いから、おじいちゃんは本ものでない足がおちて、ころぶ時があります。わたしは、げんかんを小さくしてやりたいなあと思います。おふろに一ばん先に入るのは、おじいちゃんです。

おじいちゃんの大きな食べものは、ラーメンです。日曜日には、家ぞくみんなでラーメンを食べに行きます。それがおじいちゃんの何よりのたのしみです。ながおかの「あおきラーメンや」です。とつてもおいしいです。とくに、おじいちゃんは、「おいしい。おいしい。」
と言って食べています。

雪がふりつづいている日は、ずつと一日中やっていることがあります。おかあさんが、帰ってきて「がんばっているね。」
と、いつてくれました。おじいちゃんは、
「ありがどうね。」
と、いつてくれました。わたしはとつてもいい気持ちで、うれしくなりました。はじめは、みちの雪のけの手つだいを言われた時、
「えーっ。」
と、いつて、しょうがなくやっただけど、おじいちゃんが、
「たのしいね。」
といつたので、わたしもだんだんたのしくなり、いっばいやりました。これからも、おてつだいをやるので、おじいちゃんもがんばってね。

おかあさんは、ちやわんを一つ一つていねいにあらってました。おくすりをふくろにいれているときとおなじ目をしていました。ちやわんがきれいにかたずくと、おかあさんが、
「ありがどう。あや子がつづりてくれたので、はやくおわったよ。」

わたしは、日曜日に、家ぞくみんなと、だいこんほりをしました。おじいちゃんは、先に海の見えるはたけに行っていました。わたしは、お父さんと後から行きました。弟と妹は、まだおきたばかりで、

少しさむかったから、
「りつきとゆいはおうちでまっとな。」
とわたしは言いました。わたしは、自てん車で行きました。お父さんがはやくこいでいったので

わたしがおいつこうとはやくこくと、こんどは、お父さんがおいつかれないようにもつとはやく歩いてきました。おいかけっこしてようでした。はたけについたら、もう、おじいちゃんの車にいっぱ

と、いつてくれたので、うれしかったです。おいしやさんで見たとあのにっこりしたかおでした。おかあさん、これからもおしごとをがんばってね。



大きいだいこんとれたよ

島田小二年 小林 あい

おれると、自分でもとれるけど、くるしいので、ほとんど、わたしがとつてやります。でも、おじいちゃんは、足がわるくても、できるだけ、自分でできるものは、ちゃんとやっています。

わたしは、日曜日に、家ぞくみんなと、だいこんほりをしました。おじいちゃんは、先に海の見えるはたけに行っていました。わたしは、お父さんと後から行きました。弟と妹は、まだおきたばかりで、

少しさむかったから、
「りつきとゆいはおうちでまっとな。」
とわたしは言いました。わたしは、自てん車で行きました。お父さんがはやくこいでいったので

わたしがおいつこうとはやくこくと、こんどは、お父さんがおいつかれないようにもつとはやく歩いてきました。おいかけっこしてようでした。はたけについたら、もう、おじいちゃんの車にいっぱ

「もうこんなにとれたの。」

「もうこんなにとれたの。」
と言いながら、わたしもお手つだいしました。おばあちゃんの手ぶくろをかしてもらって下さい。おんの手おとしをしました。だいいこの山の中にわたしのりょう手でもともてるほど大きくて大きなだいいんがありました。わたしは、おどろいて、

「おばあちゃんこんなに大きなだいいんがあったよ。」

と言いました。おばあちゃんといろいろ話をしながら土おとしをしました。いっぱい土がついていたから、おとしにくかったです。おばあちゃんは、わたしが土をおとしただいいんを大きさに分けて山をつくりました。おじいちゃんは、だいいんをしばったやつを車にのせて、家へはこんで行きました。おじいちゃんが帰りにりつきとゆい車を車にのせてきました。ゆいが「だいいんどこ。」

と言ったので、わたしは、

「ゆい、だいいんどこにあるからおいで。」

とよびました。ゆいは、

「ほんとだ。」

と言ってよるこんでいました。りつきが、

「だいいんぬきたいな。」

と言ったので、そこらへんにあった小さいだいいんを見つけてあげました。三人でぜんぶぬいてしま



お父さんがんばってね

島田小三年 諸橋 芳子

「ガーツガーツ。」しごと場から、ざいりょうを切る音が聞こえてきます。

わたしのお父さんは、たて具屋さんです。家の戸やおし入れの戸、しよじ戸などを作っています。お父さんは、いつも一人でしごとをしていきます。たまにお母さんもお手つだいをしています。はいたつの時はいっしょに行きます。

お父さんが一人でざいりょうを切ったり、切ったざいりょうをなべたりするのはたいへんなので、「ガーツガーツ。」という音がすると、わたしは、お父さんの所へ行つてしまいます。わたしの手つだうことは、切ったざいりょうをなべることです。ざいりょうの大きさは、切るものによってちがいます。わたしが持つていく時、十まいだったら、お父さんが十まい切るまで待つて、まとめて運びます。うすい木の時は、二十四まいでも全ぶ切るのを待つて、まとめて運びます。たまに、木の所から「みつ」のようなものが出てくる時、手がべつとべつとになって、「いやだなあ。」と思うけど、お父さんのしごとのためだから、がんばつてやります。

ました。帰る時に、わたしは、おじいちゃんの車より早く行くこと思つていっしょけんめいこいだから、おいつけませんでした。わたしが家についた時には、車からだいいんをおろしていました。つたいてだいいんをおかあさんがあらつていたので、みんなで手つだいをしました。だいいんは、たくさんあつたので、みんなであらつても、時間がかりました。あらつた後、わたしは、おばあちゃんからだいいんをほすわらのあみかたをならいました。ちよつとむずかかったけど、わたしにもできました。だいいんほりは、家ぞくみんなであつたからとてもたのしかったです。それにみんなで力を合せてたから早くほれました。だいいんは、ほかの家にもくばりました。みんながよろこんでくれてうれしくなりました。つけものやだいいんおろしにして食べるのがたのしみです。またらい年も、みんなだいいんほりをしたいです。



私のおじいちゃん

桐島小三年 小川 容子

私の家のおじいちゃんは、三年前に、病気になってしまいました。だから、家族みんなでおじいちゃんを助けています。

おじいちゃんは、茶の間に来てテレビを見たり、お客さんが来ればお客さんと楽しそうに話をしたりしています。

私が、友だちの家へ、遊びに行く時やそろばんへ行く時、おじいちゃんへ、

「おーい容子。」

とよぶ時があります。おじいちゃんの前へ行く時、

「かばんの中に、お金が入ってるつけ、百十円持つていけや。」

といつて、私にお金をくれます。また、私のほうから、

「おじいちゃん、お金ちょうだい。」

といつて、お金をもらうこともあります。

その時も、おじいちゃんの言う言葉は、

「百十円持つていけや。」

この言葉は、おじいちゃんが、お金をくれる時の、いつものせりふです。

それから、私が学校へ行く時は、バイバイと言つて、茶の間で、手をふつて見おくらせてくれます。

私は、おじいちゃんに、バイバイと手をふつて学校に行きます。こつやつて、手をふつてくれるおじいちゃんが、大すぎです。

それに、おばあちゃんがいな時は、私が、お母さんの作った料理をおじいちゃんに、持つていっはんを持つていくと、

「ありがとう。」

と言つてくれます。

おじいちゃんが、すきなのは、カツ丼です。私は時々、お母さんが作るのを手伝います。そんな時、おじいちゃんは、とくに、

「おいしい、おいしい。」

と言つて食べてくれます。そうすると、私は、とてもうれしいです。

それから、学校から習字やしようじょうをもらった時は、おじいちゃんに見せます。

おじいちゃんは、

「上手だね。」

と言つて頭をなでてくれます。私は、とてもうれしいです。

この前、学校へ、せんきよに行つたとき、車いすに乗つて、とうひょうをしました。せんきよが終つて、車に乗る時、知つてい



したちは、「お父さん、しごとのことは心ばいしないで、早くよくなつてね。」と思ひながらがんばりました。

一週間後、お父さんのけがは、しごとができるぐらになつてきました。お父さんは休んでいた分も、「さあ、がんばつてやるぞ。」という顔でしごとをはじめました。

そんなお父さんを見て、わたしたちは、「よかつたなあ。」と思ひました。

わたしはときどき、学校にいる時にも、一人ががんばつてい



そつこうそうじをしたこと

桐島小四年 小林 祥子

私は連休に、家の前のそつこうのそつこうをしました。

その日は、天気でした。でも外に出る時は風が少し強かつたです。私はジャンパーを着て、長ぐつをはきました。

まず、最初にそつこうのふたをお父さんがとつてくれました。すると、土がそつこうに、すみからすみまで、ぎゆうぎゆうに入つていました。その土は、よごれたこげ茶色でした。こんなに土が入つているとは思ひませんでした。

そして、土の中にはゴミやブルトップ、タバコのすいがら、タバ

コのはこが、入っていました。私は、どうしてゴミが入つてい

るのか、不思議に思ひました。そつこうの中に、ゴミを捨てる人がいるんだなあ。と思ひました。その他に知らないよう虫もいました。

そつこうそうじは、お父さん、お母さん、おねえちゃん、私の四人でしました。

五才の妹は、土やすなで遊んでいました。

道具は、シャベルやくわを使ひました。私は、お母さんがくわでほぐしてくれた土を運びました。

お父さんやおねえちゃんもいっ

父さんをそうぞうすることがあります。お父さんは、ざいりょう切りだけじゃなくて、大きな木を持つたり、大きな戸を作つたり、人の家の戸をはめたり、いろんなことができてすいいます。そんなお父さんに、わたしは、「お父さん、これからもがんばつてね！わたしも、手つだえることがあつたら手つだうよ。たくさんわたしたちたのんできてね。」と心の中で言つているのです。

しよに土を運んでいました。シャベルは少し重かつたので

すが、その上に土をのせたら、すごく重たくなりました。「重いなあ。お父さんは重たくないのかなあ。」と思ひました。見ると、お父さんは休まないで、土を一生けん命に運んでいました。お母さんもおねえちゃんも、自分の仕事を一生けん命にしてい

ました。「私もがんばろう。」と思ひました。

運んだ土は、風よけの下にすき間があつたので、そこにうめまし

た。最初は、寒かつたけれど、だん

だんあったかくなって、ジャンパーをぬぎたくまりました。一つ目のそっこうが終わると、次のそっこうのそっじを始めました。

「やっぱりそこも、いっぱい土が入っていました。『まだあるのかなあ。大変だなあ。』と思いました。二つ目のそっこうでは、私がくわで土をほぐしました。シャベルよりもおもしろかったです。それで、今度はお父さんと、お母さんと、おねえちゃんが生きています。私は、くわのほうが好きだと思いました。くわでほっていると、私がお母さんが、さつきくわで土を運んでいるの思い出し、私も運んでみました。そしたら、のせた土が、落ちてしまいました。私は、シャベルのほうがいいなあと思いました。」

つぎに、三つ目、四つ目、五つ目のそっこうへ進みました。どのそっこうにも土がはまっていました。みんなは、もくもくと仕事をしました。九時半ごろ始めたそっこうのそっじが、十一時近くになってやっと終わりました。お母さんが、「やっと終わったね。」とにこっと笑って言いました。わたしは、きれいになってうれしくなりました。みんなもううれしそうでした。でも、とてもつかれました。



リサイクル運動

島田小四年 狩野 絵美

「牛にゆうパックや、ジュースのアルミかんなど集めて、リサイクル運動をしてみたい?」

こんなお母さんの提案で、わたしの家では、今、リサイクル運動をしています。昨年春ごろから始めて、もう、一年半くらい続いています。リサイクルとは、使い終わったものを、もう一度、利用するということです。

わたしたちは、一日に、本当にたくさんゴミを出します。中之島のゴミしり場でも、かいぶつのようなたくさんゴミを見たことがあります。日本中のほかのゴミしり場が、ゴミでいっぱい、こままっていると思います。だから、少しでもいいから、ゴミをへらすために、わたしたちの家でも、リサイクル運動をしているのです。初めのうちは、どんなことをするのかよくわからなかったけど、そのうち、リサイクル運動というのは、とてもかんたんで、私にも、続けられることがわかりました。わたしの家の場合、何をリサイクルするかというと、アルミかんや、牛にゆうパック、それに、肉や魚が入っているトレーなどです。



私の両親

桐島小五年 阿部 梢

私の家の大黒柱であるお父さんは、人と話をするのが好きです。みんなからは、「梢のお父さんは無口でしょ。」と言われるのですが、まったく逆です。何かする度に、お父さんの少年時代と若い頃の話が出ます。それに冗談をいつも言っていて、私たちを笑わせます。ひまな時は遊ん

でくれます。とてもおもしろいお父さんです。そんなお父さんの仕事は、大型トラックの運転手です。何度かお父さんの大型トラックに乗せてもらったことがあります。その時お父さんに、「小型のトラックと大型のトラック、どっちが乗りやすい。」

と聞きました。お父さんは、「大型トラックの方が乗りやすい。」と言っていました。仕事には朝七時頃に出ていけばいいのに、六時三十分に出ていきます。お父さんは働き者だと思います。お父さんは、私たちが生まれる前に、すごいけがをしています。お腹からおしりにかけて、棒が突

き刺さりました。運良く太い血管を切らなかったので、助かったそうです。もしお父さんが死んでいたら、私も妹も生まれていません。他にもお父さんは、盲腸などで六回もお腹を切っています。だからお父さんのお腹は、傷だらけです。みんなのお父さんより年を取っています。私がお父さんが大好きです。

電話の時、声が大きいです。テレビの音が聞こえなくなるほどです。お母さんは、出雲崎のオンヨネに勤めています。そこでは、スキーウエアを一年中作っています。今は、中国から送られてくるスキーウエアの直しをしています。直しの仕事はとても疲れるそうです。お母さんは、家の仕事もたくさんあって大変そうです。私は手伝う時もあるけど、そうでない時の方が多そうです。これからは、もう少し手伝おうと思います。お母さんは、私の悩み事を何でも聞いてくれるので、とても話し

やすいです。勉強もいろいろ教えてくれるし、体のことなども教えてくれます。お母さんも、お父さんと同じで、みんなのお母さんより、年を取っています。何度も、「どうしてお父さんもお母さんも年を取っているの?」と思いましたが、私は無事に生まれたので良かったと思っています。私は、こんなお父さんやお母さんがいて、すごくうれしく思います。これからは、二人ともこのまま元気でいて欲しいと思います。

やろうとしません。どこかにもう一人の自分がいて、「そんなめんどろ」と、言っているのです。やっとなことするな。やめろ、やめろ。」と、言っているのです。油をフライパンにひいて、一つ一つギョーザが焼かれていきました。その時、「あつ、そうだ。皿や茶わんを並べよう。」と思いましたが、やっばり今日のお母さんはニコニコしていました。だから、と

多かったです。笑ったりしたけど、とてもさわやかな気分でした。私は、今まで知らなかったお母さんの気持ちが、このギョーザ作りでわかりました。いつも元気がないのは、そっくりそがしいためとわかり、少しはお母さんの気持ちも考えてやろうと思いましたが、口だけの私でも、やろうと思えばできるということがわかり、少し自信がついてきました。お母さんの笑顔がとてもうれしかったです。



お母さんの笑顔

島田小五年 佐藤 那夏

私は、連休の最後の日(十一月二十三日)にお母さんと姉妹で手作りギョーザにチャレンジしてみました。いつものお母さんは、仕事から帰ると元気がなさそうに食事の準備をしますが、今日は顔がなんとなく生き生きとしていて、手早く進みました。

「何回もしてんだから、もっと上手に作ろう。失敗しても形より中味がおいしく出ればいいんだから。だけど、なるべく失敗したくない

なあ。」と、思ってギョーザの皮の中にアツアツ言いながら具を入れました。と中、具が少なくて皮だけのギョーザができたけど、それでもお母さんはニコニコしていました。その時、「お母さんは、いつもいつも仕事から帰ってくると、食事作り。それが終わってみんなとテレビがみたいのに洗たく。朝早く起きて食事作りとお弁当作り。保育園の子どもの世話をしてきた。くたなのにもた食事作り。このよいうなことが毎日毎日続くから、少しは茶わんや皿をいやがらないで

ならべてやるね。いやいややるんだ。自分でもやらべたほうがいいと思うよ。」と、思いました。私たちがお母さんに「茶わんならべるの手伝ってえ。」と言わると、「前にならべたらどんなに喜んでくれるだろう」と思いました。実は、私は、口だけというのが多いせい、思っただけで全然やろうとしません。私は、思っただけでやろうとしないせがあるのです。「どうしてやらないんだろ。ほら、早くやろうよ。」と、自分に言い聞かせているのですが、

多かったです。笑ったりしたけど、とてもさわやかな気分でした。私は、今まで知らなかったお母さんの気持ちが、このギョーザ作りでわかりました。いつも元気がないのは、そっくりそがしいためとわかり、少しはお母さんの気持ちも考えてやろうと思いましたが、口だけの私でも、やろうと思えばできるということがわかり、少し自信がついてきました。お母さんの笑顔がとてもうれしかったです。



私の父



桐島小六年 長谷川 都哉子

私の父は、ガソリンスタンドの専務をしています。父は私に、夜遅く、つかれた顔を見せまいと、作り笑顔で帰って来てくれます。「こんな父に、私は何もしてやれないのだから」と……。

私はよく、父の会社へ仕事を手伝いに行きます。行ってから、一番最初にするのは、掃除・テールふき・はい皿出し・タオル出しです。その他にも、いろいろやる事はありますが、それをやっていると、アルバイトの人達が来ます。まだ、七時なのに、もうお客さんが来るのには、私はびっくりしてしまいました。私は、一番最初にタオルの洗たくと、車の窓ふき、洗車した車ふきぐらいしかやれなかつたのですが、三日、四日と、手伝いに行く日が多くなると、機械の操作やレジをやらせてもらいました。アルバイトの人とも仲よくなり、手伝いに行くのが楽しくて、いつも、こんなに楽しい仕事をやれていいなあと思っていました。けれど、楽しい事ばかりではないのです。今は、人手不足でこまっています。今、やめていく人も多いそうです。以前、夜遅くまで、



祖母を助けて

島田小六年 栗林 和也

「だんらん」が、私の家では、少ないのです。誰か一人はいないのです。父は会社、姉は勉強、私は剣道や塾など。だから休みの日は、「お父さん休みかな？」って、期待するのですがだめです。ほとんどの日は、うらやましいです。みんなの家が……。夜とか休みの日と

祖母は、僕達家族のために、いつも元気で働き、元気に話してくれていた。毎日楽しくすごしていたのも、祖母のおかげだった。僕は、知らず知らずのうちに、祖母にいろいろなことをたのんでいた。そして、それを、あたりまえだと思っていた。あの日までは……。

十一月八日。その日、僕は朝の六時ごろ母に起こされた。僕の耳に母の声がかすかに聞こえてくる。「何とばけたことを言っているのだろう」。初めは、そう思っていた。けれど、だんだん母の真剣さに、その言葉が、うそではないことを感じた。祖父が死んだというのだ。

僕はびっくりして、とび起きた。そして、祖父がいる部屋に行った。その部屋には、一人ねている祖父がいた。信じられなかった。僕は、その日、信じられないまま、珠算競技大会に行き、四時ごろ家へ帰った。外には花輪が立てられている。家の中に入ると、たくさんの人達が来ていた。自分の家が、祖母は、別人のように暗かった。そして、悲しみをまぎらわすように、たくさんのお仕事をしていた。近所の手伝い人よりも、ずっとずっとたくさんのお仕事を……。お通夜の時、祖母が、祖父に、

「かんのん様がまつてるよ」と、泣きながら言っていた。そんな祖母を見て、僕は、「なんとかおばあちゃんを助けてやろう。悲しくさせないでやろう」と決心した。あの日から、祖母には笑顔が見られなくなった。妹の送りむかえも、畑の仕事も一人でやることになった。今まで祖父と二人でやってきたことを一人でやらなければならぬ。なんだか、つかれているようだ。祖母を見て、何かしてあげたい。僕にできることはないのか。」と自分で自分を責めた。何

もできないことが、くやしくてしかたなかった。

十一月二十二日、二十三日は連休だった。

今までは、仕事をおしつけられるといつも、いやな顔をしていた僕だった。しかしこの日はちがった。祖母のために何かしてあげたい気持ち強く、自分から進んで、「手伝うよ。」

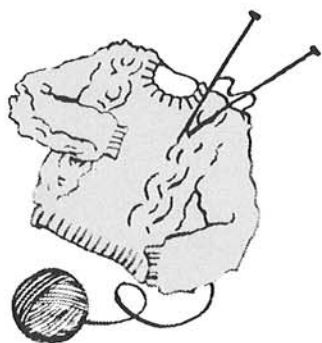
と言った。父にも手伝ってもらった。それは一人ではできない仕事だったからだ。まず、畑で取ったたくさんの大根とハクサイを、家で運んだ。

とっても大変な仕事でトラックの所まで、何回運んだか分からないくらいだった。

家につくと、大根を冷たい水で洗った。とっても冷たい水であるはずなのに、その日はなんにも感じなかった。

そして、終わった。なんだかいつもとより、すぐ終わったように感じた。きっと、自分で進んでやったからなのだろう。その日はすごく、祖母にほめられた。なんだかいつもより、祖母にほめられたことが、うれしかった。やってよかったと思った。

これからも祖母を助けてあげられることがあったら、進んでしよう。そして、祖母をばげましてやろうと思った。それが、祖母が、早く前のような笑顔をとるもどしくしてくれる一番の近道だと思う。



大切な祖母



北辰中学校一年 久住 里美

私の家は、父、母、祖父、祖母、兄、妹、そして私の七人家族です。わが家の朝は、私たちが学校へ行くまで、大変にぎやかです。

特に妹が学校へ出かけるまでは、「おくないように」。忘れ物は「ないか」。「歯みがきはやったか」。顔を洗ったのか」と毎日同じ言葉のくり返して、一日が始まります。

私は、時々「うるさい!!」と感

じることがありますが、私はこんな家族で満足しています。それは今現在、家族が健康だからです。

今から何年前か、私の祖父は、病気で入院しました。その時、祖母は、病院につきそいに行って、私が家に帰ってもだれもいなくてとてもさびしかったことがありました。いつもなら、「ただいま。」と帰れば、

「おお、今帰ったか、おかえり。」と祖母があなたかくむかえてくれます。その声を聞くとさびしさなんかどこかへいき、安心した気持ちになりました。その時に、家族の一人でもないとなると、みんなの心がしずんで暗くなるということを思い知らされたような気がしました。祖母のいない時の母の様子を見てみると、いつもより早く起床し、朝食の準備やそうじ、洗

濯、私たちのめんどうを見てから仕事に出かけ、帰ってからは、夕食の準備と、とてもいそがしうでした。いつも私たちのめんどうを見てくれた大切な祖母に、私は、時々口ごたえをしたり、反抗的な態度をとったりします。つい、「カッ」となって、乱暴な言葉が出てしまいますが、後からはいつも「おばあちゃん、ごめんさい。」と心の中では、後悔の気持ちでいっぱいになります。

祖母は、毎朝六時前に起き、母と役割を分担して、朝食の準備をしています。また、私たちがすぐ学校へ行くように自転車を出しておいてくれます。朝食のあとかたづけも祖母の大切な仕事です。晴れた日には、大好きな花づくりや畑仕事にはげんでいます。また、時々、祖父とけんかをすることもあり。その原因は、祖父がたばこをたくさんすって、家族に迷わくをかけたたり、酒を飲みすぎて祖母を困らせたりするからです。私は、本当におこりたくて祖父とけんかをするのではないと思いません。前に入院をして、みんなにさみしい思いをさせたことがあるからだと思えます。他に祖母の仕事といえは、今小学校二年生の妹のめんどうです。時間におくれないように送り出したり、妹が帰ってくれば、おやつをやったり、学校での出来事を話し合ったりしてい



一年の締めくくり

北辰中学校二年 中村 真澄美

私の家では、お正月が近づいてくると、親戚などが集まって「おもち」をつきます。機械ではなくきちんとした「きね」と「うす」を用いてつくのです。昔は私の家でやっていましたが、家を新築して土間がなくなってしまい、他の親戚の家でやることになってしまいました。少し、寂しい気もしますが、仕方ありません。

私は、もちつきが近づいてくると、なんだかそわそわしてきます。めったに顔を会わせることのない親戚などが、一度に顔を会わせるのですから。それにもちつきは、一年の締めくくりでもありません。

さて、もちつきはまずお米を炊くことから始まります。これは母達の仕事です。前の日からお米を洗っておき、今はもうあまり見かけなくなりましたが、「まきストーブ」でお米を炊きます。幼いころの私は、ストーブの中の炎をいじりたくていじりたくて、しようがなかったことをまだ覚えてます。そして、お米を炊く炎をいじりたくていじりたくて、母に見ていたのは、私の祖母でした。私がいじるとすぐに消えそうになるのに、祖母がやるとうまい

具合に火がつくのです。私はそれが、とても悔しくていつも祖母の隣りに、座っていました。

また、お米が炊きあがった後の、あのおいと、湯気が私は好きなのです。うすに入れる時のあのおいと湯気は、なんだかとてもあつたかそうで、「さあ、これからもちをつきはじめるぞ」という感じがして好きなのです。

ここからは、父達の仕事です。なんだか、リズムにあわせてもちをつけているみたいです。私も何度か挑戦するのですが、あんなに早くできません。きねにもちがついて、とれなくなってしまう。ついで、とれなくなってしまう。人は恐くないのかなあとも思いますが、なぜなら、もし失敗したら手までもちと一緒につかれてしまいますから。

もちが、つきあがれば今度は子供達の出番です。きな粉に、あんこ、大根下ろし、雑煮、いろいろあります。それをみんな、ここぞとばかりに自分の好きなものを食べていきます。いつのまにか、「私は六個食べたよ。」「僕なんて八個くらい食べちゃったんだから。」な



家庭とは一体？

北辰中学校 大矢 利行

家庭とは、皆が互いに助け合うものだとよく言われるが、本当にそうなのだろうか。本当の意味で互いに助け合っている家庭などそう多くはないと思う。

わが家は共働きであるが、姉も弟もいるので心強い。それに祖父も祖母もいる。弟は、とても明るい性格で、家庭内の雰囲気盛り上げてくれる。だから家族になく

てはならない存在である。そして、人の事をよく心配してくれる優しい弟である。姉はどんな相談にものってくれるたのもしい存在だ。

こんなふうには姉や弟がいて、悪ふざけしたりケンカしたりできるのは幸せなのか、不幸せなのかかわからない。だが、たぶん幸せなのだろう。いやそう思う。

ところで、家庭の中で助け合う

のはけっこう難しいと思う。たとえば、風呂の掃除をしたり、草取りをしたって本当の意味での助け合いにはならないと思う。本当に、自分が悩んで悩んで苦しい時こそ、黙ってみてやるのが思いやりであって、本当の助けでもあるのかもしれない。けれど、自分としてはやはり苦しい時は、助けてもらいたい。そんな時、中立の立場で

て、くだらない会話になっちゃった。でも、これも楽しみの一つなのです。中には、あまり食べ過ぎて、気持ち悪くなってしまう子もいます。今、考えてみればなんだか、食べるだけみたくに思えてきます。

次は、お正月用の鏡もちです。ここでは、また母達と祖父の仕事です。お正月用の鏡もちを作るのはむずかしい作業です。上のもちと下のもちのバランスがむずかしいのです。私が鏡もちを作ると

とても変な鏡もちになってしまいます。そして、余ったもちが正月に食べるもちは、大きな板の上にもちをのせて、だんだんと伸ばしていくのです。これは祖父の仕事です。どこも同じ厚さにするのは、とてもむずかしいことだと

思います。

今ではもう、きねと、うすでもちをつく家は少ないと思います。でも私は、いつまでもこの方法で、もちつきを続けていき、みんなであれ、一年の締めくくりをしたいと思えます。



みてくれるのが兄弟だと思う。兄弟とはかくありたいものだとつくづく思う。

現代では、本当に親らしい親子供らしい子供は減ってきているように感じる。つい最近、ニュースで、中学三年生、つまり同級生がこれからの進路について話している、カッとして親二人を刺すという事件が放映されていた。こんな親不孝者がこの世の中にもよいか、とふつうの人は口々に言うだろう。しかし、私は、この少年がどうしてこんな事をしてしまったのだろうかと考えると、そんな事は言えない。親二人を刺した少年が一〇〇パーセント悪いわけでもないと思う。そんなふうになぜ親も少しは悪いのではないかとと思う。こう言った事件も昔では絶対と聞いていい程ありえない事件で、現代だからこんな事件がおこるのだろうと思う。この状態を、私たちはどう捉えたらよいのだろうか。それより一番ショックを受けているのは戦前から生きた現代に生まれた人たちだ。戦後から現代に至るまでめまぐるしくいろいろなもの変わってきた。彼らは、変わらなくてもよいものまで変わったように思っているのではないだろうか。

祖母はよく昔のことを言う。「昔は、みんな助け合いながら生き抜いてきたのだ」と言う。「生き抜いてきたのだ」という言葉は胸にずしりくるような重みを感じる。確かに現代では昔と違って本當に肉体的に苦労することはあまりない。食べ物もほしい物もすぐに手に入る。だから、昔のように生き抜くのではなくて、ただ生きていくような感じがする。だから、家庭というものは昔のままのほうが現代よりずっとよかつたのではないかと思う。

だが、現代の家庭も良い点はある。確かに現代では昔と違って本當に肉体的に苦労することはあまりない。食べ物もほしい物もすぐに手に入る。だから、昔のように生き抜くのではなくて、ただ生きていくような感じがする。だから、家庭というものは昔のままのほうが現代よりずっとよかつたのではないかと思う。

このようなことから家庭は、人が生きていくにあたって一番大切な団体であると思われる。結局家庭とは何なんだろうか。家庭とは、人間にとつてなくてはならないものであり、それは人間によって構成されるものであつて決して壊してはいけないものだ。この作文を書くにあたって強く思った。こんなことを思いながらこの作文にピリオドをうとうと。

子どものことを理解していますか？

ありのままの子どもの受けとめて、それぞれの能力や個性を伸ばしてあげてください。

命令、干渉、支配。
親が考える型で抑え込んではいけません。



子どもに恥ずかしくない生き方をしますか？

子どもは親のいうことは聞きませんが、親のすることはよく見えています。

かっこつけることはありません。人生の先輩として、恥ずかしくないように。



ちよん思いよって みてくださーい。

子どもの世界は、その成長につれてとんどん広がっていきます。
未知との出会い、経験が、考え方や行動に影響を与え、日々変化しているのです。

家庭が子どもの「やすらぎの場」になっていますか？

評価と規制に囲まれて、子どもも疲れています。一緒に食事をしたり、話し合ったり、笑ったり、団らんのときをもちましょう。



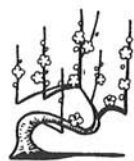
毎月第3日曜日は家庭の日

島崎橋が完成

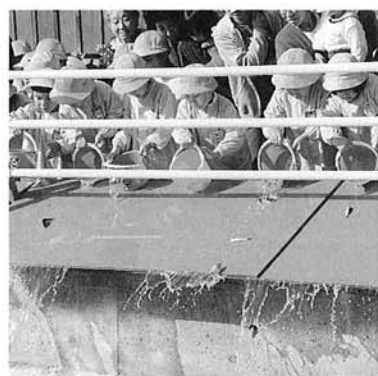
長い間ご迷惑をおかけいたしました島崎橋幅員工事が終了し、十一月二十四日、竣工式初め式と祝賀会が行われました。

ご存知のように、今までの島崎橋は、昭和三十四年に完成しましたが、だいぶ傷んできました。また寺泊方面と国道一六号を結ぶ重要な橋であり、良寛の里へ観光客を導く橋でもあります。このような交通事情に対し、橋はとても幅が狭く交通渋滞もしばしばみられました。

このような事情を考えて、県与板土木事務所では平成二年度に工事に着手し、三年をかけて平成四年度に完成しました。この工事は、県の単独事業と「地域づくり推進事業」であります。そのため橋の欄干や信号機や照明なども文化性を考え、落ちついた感じがあります。総事業費は二億八百万円をかけた。



二十四日は、渡り初め式が午前十一時から、完成した島崎橋で行われました。村長、与板土木事務所長らによるテープカット、与板警察署長ら十二名による久寿玉割りが行われました。このあと早川辰猪さんをはじめとする三夫妻による橋の渡り初めが行われました。記念植樹のあと、川に錦鯉を放流しました。小さな



鯉を幼稚園児が放流し、大きな鯉は地元の区長をはじめ出席者全員で放流しました。最後に与板警察署交通課長による信号機通電が行われ、一般開放となりました。またこのあと会場を総合福祉センターに移し、祝賀会が行われ完成を祝いました。島崎橋が完成し、交通渋滞が少なくなるだけでなく、村の活性化が期待されます。これからは常に河川をきれいに美しくまた、放流した錦鯉を大切にして下さい。

島崎立野農業用水ため池が完成

国道 116号バイパス補償工事島崎立野農業用水ため池が竣工しました。

新しく完成したため池は、敷地面積 2,000㎡、堤高3.25m、常時貯水量850㎡ (850t)、取水口スライドゲートφ 100㎜×3穴、余水吐スライドゲートφ 800㎜×1です。高弾性軟質塩化ビニールシート張りの村内では、初めての構造で、大変すぐれたため池です。



マナビーくんの部屋

～ 生涯学習情報 ～



ひよこ教室閉講式

十一月二十六日、平成四年度の「ひよこ教室」の閉講式が行われました。

この日もいつものように三十組ほどの親子がゆきわり荘に集まりました。親子のスキンシップをはかるために「アンパンマン」の曲に合わせて遊んだり、おやつを食べたりして楽しみました。

またこのあとは、お母さんの学習会に入りました。ひよこちゃんたちは、多目的ホールでひよこちゃん同士でままごとや積み木で遊びました。何回もこの教室に通っているため、お母さんだけでなく、ひよこちゃんも友達になり、仲良くなれたようでした。お母さん方は、グループ発表に入りました。三つのグループに分かれ、テーマを決め、それぞれのグループでまとめたことを発表しました。「食べものとうんこについて」「おやつについて」「食品の添加物について」などとても身近なテーマでした。わずかな時間に本で調べたり、電話相談室で聞いたり、この日のためにお母さん方は、がんばっておられました。教育委員会と住民課による教室は、今年度分は終了しましたが、これからも自主運営で教室はすすめていきます。まだまだいろいろなアイデアがでてきて、楽しいイベントがありそうです。



「英会話教室」開講

最近、良寛の里を訪れる観光客の中に外国の人が見受けられたり、村内企業に従事したりして、外国の人と出会う機会が多くなっており、日本人は、とかく言葉が解らないと外国人の人を敬遠しがちだと言われております。

そこで、公民館では、左記により簡単な英会話をリラックスした気分、初歩からの「英会話教室」を開催いたします。

この機会に、楽しく英会話と親しんでみてはいかがでしょう！

日程 二～三月の毎週火曜日

午後七時三〇分～八時三〇分までの一時間

対象 一般成人

参加費 四、〇〇〇円

定員 二〇名

講師 チャーニー・ワイツマン 先生(米国出身)

(現在、県内で英会話教育の指導者として活躍中)

※原則として、全日程参加可能な方。申し込みは、公民館へ (電話 七四一三一一番)

糖尿病かわら版 第四号

砂糖は血糖値を急に高くします
お菓子の食べすぎに注意しましょう

糖尿病の人や肥満の人に「何を一番気をつけたいか」と思いますが「とたずねると「間食(おやつ)に気をつけたいね」と言う方がよく返ってきます。分かってはいるけどやめられないと言われるように、お客様と一緒にパク/ちよつとお腹がすいたと思えばパク/遊びに行つた先でパク/おかしは口にはいる機会は数多く、知らず知らずのうちにたくさん食べてしまっています。先回も述べましたように甘いおかしは砂糖を多く含んでいます。砂糖は、ほとんど消化する必要がないのでごはん等の糖質に比べると胃での吸収が早く、このため血糖が急になりやすくなります。ですから、糖尿病の人にも境界型の人にも原則として甘いおかしは食べない!!としたほうが良いかと思えます。また、調味料として使う砂糖も一日6gと制限し血糖の上昇を防ぎましょ

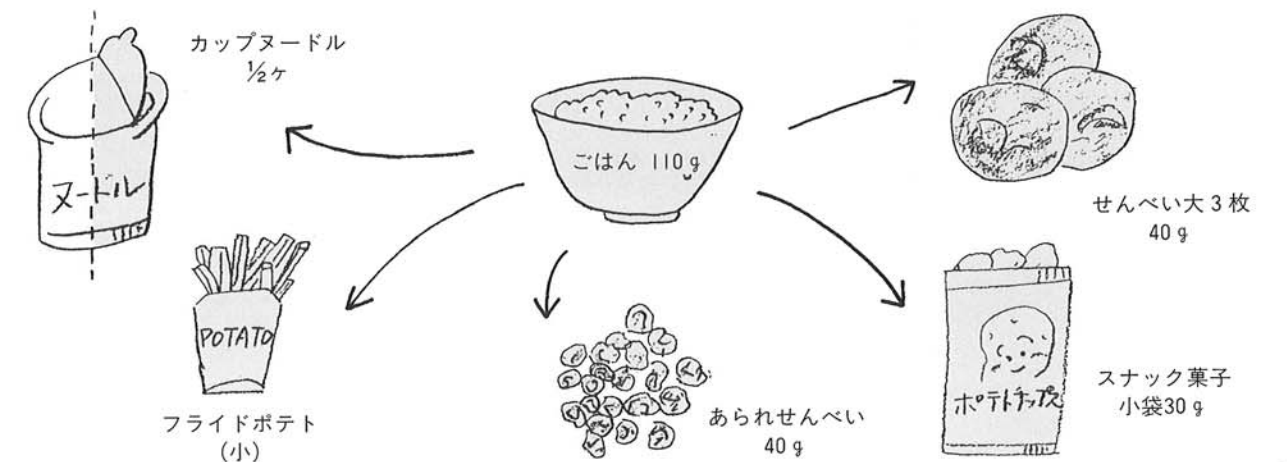
う。せんべいやおかし等の他の菓子類も食べ過ぎると肥満の原因になる糖質を多く含んでいます。おやつをツイ食べてしまう人は余計な糖質をとることになりますので食べないようにしましょう。

こんなにさとうが含まれています

(ステックシュガー1本6グラムとすると何本分になるかな?)

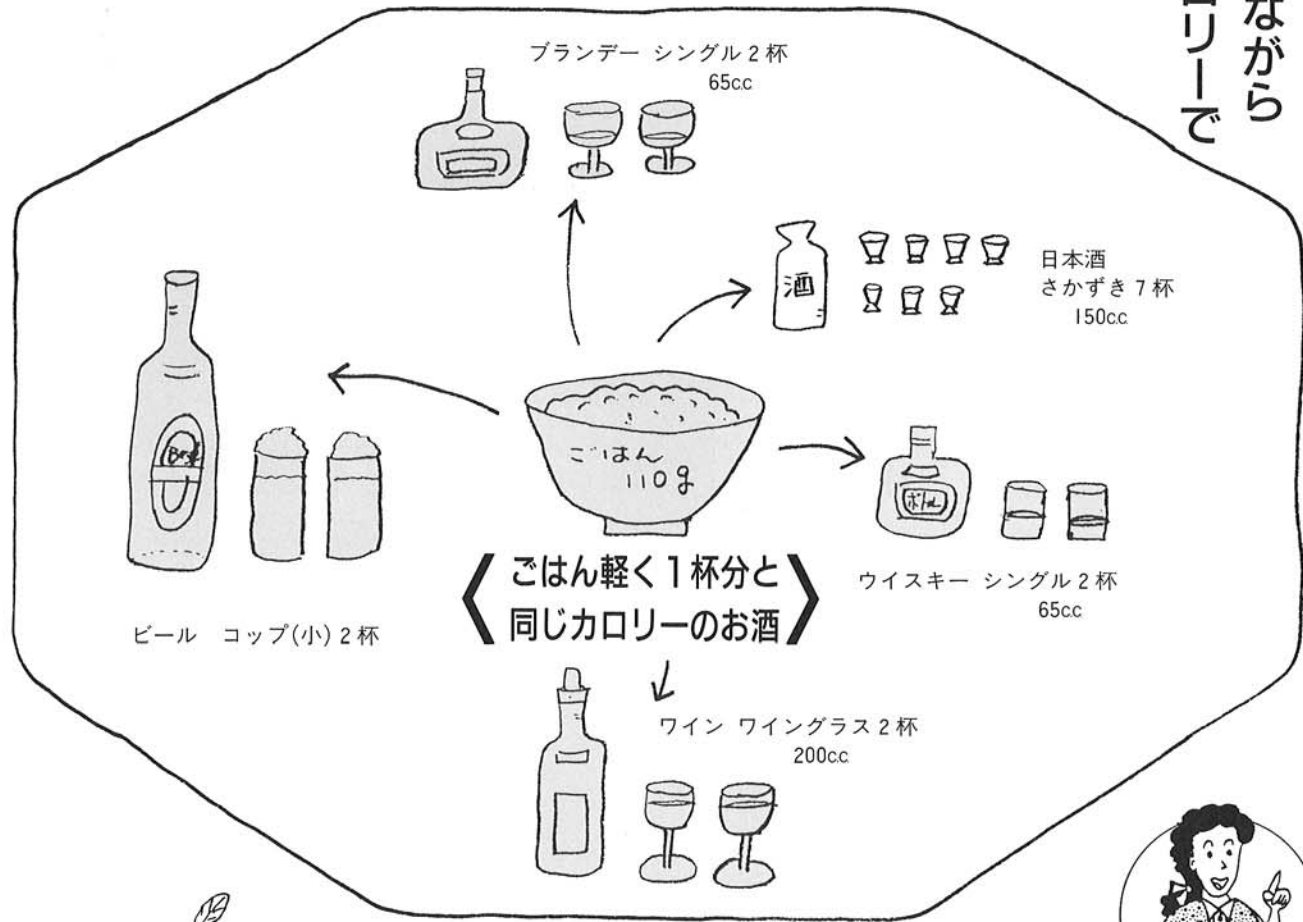


ごはん軽く1杯110gと同じカロリーです(160カロリー)



お酒は血糖値をみながら 指示カロリーで

もう一つ注意しなければいけないのがアルコールです。飲酒時にも栄養バランスを考えてきちんと食事をしていただければ良いのですが、たかたんばく質食品に偏って、野菜不足になってしまったり、塩分、油分を多く使った食事になったり、また食欲を増進させるためにエネルギーの取り過ぎになつてしまつたりと血糖のコントロールが乱れやすくなります。アルコール自体も臓腑や肝臓の障害を起すおそれがあります。以上のことからアルコール性飲料は禁止することが望ましいと思えます。しかし、飲酒は人間生活の潤滑油であり、ストレスを和らげ、血液の循環を良くする等の捨てがたい点もあります。肝障害や肺炎等もなく、血糖コントロールが良好な人は主治医と相談し許可を得てから飲まれても良いかと思えます。飲んだとしても、ごはん軽く一杯のカロリー分が適量かと思えますのでこれくらいにおさえて下さい。酒はあくまでおいしく食事をすすめるための脇役であつて、主役にはいきません。



年末年始の過ごし方

- 腹八分目を心がけましょう。
食べ過ぎたと思ったら、体重を必ず計ってみましょう(自己反省)。
- 三ヶ日の食事は1日2回というような習慣がありますがそうすると1回の食事が多くなり、血糖の上昇につながり、コントロールがくずれてしまいます。
糖尿病の人、境界型の方は2回食にせず、3回食、4回食というように体への負担を軽くしましょう。
- ついつい男性はお酒、女性はジュース類の飲み過ぎとなる時期です。気をつけましょう。
- お正月料理はお砂糖をいっぱい使ったものが多いので調理に工夫が必要です。

よいお正月をお迎えください♡

壮年混合バレーボール大会 下小島谷一連覇

十一月月中旬に入り、冬がすぐそこまで来ている十一月十五日、公民館主催の壮年混合バレーボール大会が、六チーム参加の中、行われました。

A・B二つのブロックに分け、予選リーグを行い、各ブロック一位の下小島谷チームと川端・道城下チームの間で決勝を行い、接戦の末、下小島谷チームが一連覇しました。

下小島谷	2	15	12	15
川端・道城下	1	6	15	8



第十二回 村民バスケットボール大会

十一月二十一日、体育協会主催のバスケットボール大会が中学生のチームから一般のチームまで、十三チームが参加し、朝八時三十分から夕方五時三十分頃まで九時間に渡り、熱戦が繰り広げられました。

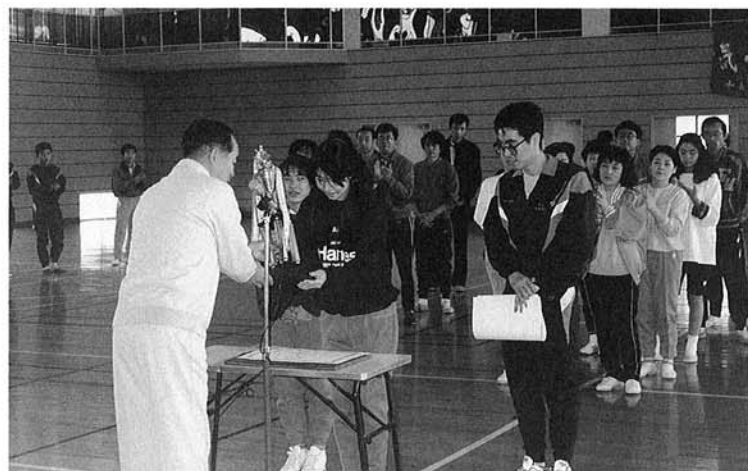
その結果、上位四チームに体力に優る中学生三チーム、高校生一チームが残り、中学生のザ・モンキーマジックが優勝しました。

結果は次のとおりです。

- 優勝 ザ・モンキーマジック
- 二位 平本とその仲間たち
- 三位 オールスターチーム
- 三位 キムス



おらがむらの出来事



手作りのふれあい集会

十一月二十六日、ゆきわり荘で島田小学校の五、六年生による「お年寄りふれあい集会」が行われました。

この集会は、地域の中で一人暮らしや老人夫婦の世帯を対象に招待し、自分たちの生活の何かのきっかけにしようという開かれました。子供たちは、学校からのたよりを各世帯に配付していますが、それをきっかけにおじいちゃん、おばあちゃんを招待しました。お年寄りだけの世帯なので、学校への行事へ参加する機会も少ないので学校での出来事をビデオや作文を発表したり、歌を歌ったりして、学校のことを知ってもらいました。

このあと、グループにわかれ、人生の大先輩であるおじいちゃん、おばあちゃんからいろいろな話を聞きました。子供たちからの手作りの名刺をもらい、とてもうれしそうに顔で話もわかりやすくすすめてく



さいました。おばあちゃんがお嫁に来た頃、戦争の頃、子供たちには、想像できなかった時代の話をとても興味深く聞いていました。

話しあいの後は、会食です。この日のメニューは、二、三年生が畑でつくったものを中心に、さつまいもやみそ汁などこちらも手作りのものです。あつたかいメニューで話はずみしました。

子供たちは、この日の体験を作文にして、十一月四日におじいちゃん、おばあちゃんに届けました。また十一月十九日には、これを物語とした冊子が完成しました。招待からその後の報告まで全てが手作り。おじいちゃん、おばあちゃんには、とても心あたたまるプレゼントだったでしょう。また子供たちにとってもこれからの人生の中で心に残る経験だったことでしょう。



もちつき

十一月一日、桐島小学校では、もちつき大会が行われました。

今ではあまりみられなくなったきねとうすによるもちつきで、PTAの役員やJA桐島地区の皆さんの協力により、行われました。せつかくのこういう機会なので、大人だけでなく、子供たちも交代してきねを持って、もちつきを体験しました。このあとみんなですいたもちを食べましたが、できたてで、また自分たちですいたもちですからおいしさも格別だったはず。

またこのあと児童の代表による、体験発表が行われました。田植えからはじまり、稲かり、もちつき...とても長い時間と努力があつて完成することを学んだようでした。

青年夢来おこしツアー

11月21日~22日、第3回目の「青年夢来おこしツアー」が行われました。今年は27人の参加があり、福島県棚倉町へ行きました。

棚倉町は全国でも3人しかいない「女町長」の町で、「ルネサンス棚倉」という大きなリゾート地があります。今回のツアーでは、町長にはお会いできませんでしたが、このリゾート地を見学しました。女町長が誕生し、10年かけて完成したこのリゾート地の見学は、これから地域おこしのパワーになる青年には、とても良い刺激になったようです。

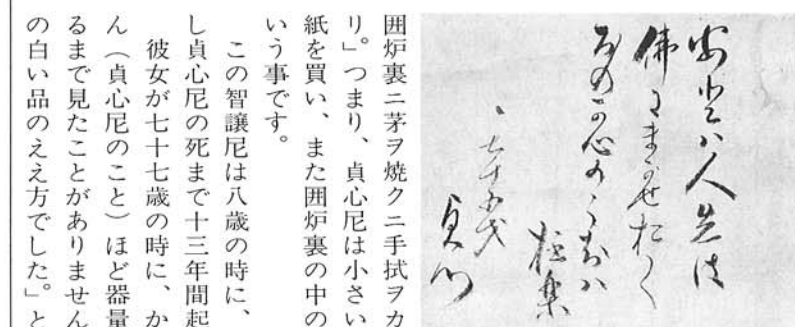
青年夢来ができ、3年が経ち、ようやく基盤づくりができました。3年間のツアーをもとに今後の村おこしに大いに活用されることを期待しています。





良寛の里 情報発信

良寛の里入館者数
オープン～11月30日 143,951人
12月1日～11月30日 6,951人



先月号でご紹介しました貞心尼の書「後は人、先は仏にまかせおく、己が心のうちは極楽」です。貞心尼が後半生住んでいた柏崎の釈迦堂の後継者、智護尼が語ったところによると「貞心尼ハ幼ニシテ母親ニ別レ、ままとナリ、賃糸ヲトリ親ノ前ヘハ毎日毎日申付ケタケダシ、其余金ヲ得テ筆墨紙ヲ求メ学問ヲセラレタルトノ事、困炉裏ニ茅ヲ焼クニ手拭ヲカブリ炉ノ中ニテ灰書キシタルモノナリ。」つまり、貞心尼は小さい時からアルバイトで得たお金で筆や紙を買い、また困炉裏の中の灰に字を書いたりして勉強をしたという事です。

この智護尼は八歳の時に、当時六十二歳の貞心尼に弟子入りをし貞心尼の死まで十三年間起居を共にしておりました。彼女が七十七歳の時に、かの相馬御風先生に「わしらが庵主さん（貞心尼のこと）ほど器量のええ尼さん、わしがこの歳になるまで見たことがありませんのう。目の凛とした、中肉中背の色の白い品のええ方でした。」と語っています。

第二回 「良寛の里」書き初め大会開催!!

「良寛の里」の新春イベントとして、第二回「良寛の里」書き初め大会が下記の要領で開催されます。それぞれ各賞並びに、参加者全員に記念品を用意しておりますので、村民の皆様多数の出品をお待ちしております。

- 記—
- ◆対象 村内小・中学生及び一般
 - ◆提出期限 平成5年1月10日(日)
 - ◆提出場所 「良寛の里美術館」または、教育委員会
 - ◆審査員 白倉南雀先生(柏崎市)ほか
 - ◆その他 ①小・中学生は学校を通じて依頼 ※小・中学生の手本は、「てまり」「竹の子」「良寛の里」です。なお、一般の参加者の題材は自由です。②審査終了後、良寛の里「てまり」において展示いたします。

●主催/良寛の里書き初め大会実行委員
●後援/良寛の里美術館・和島村教育委員会

村長室の黒板から

十一月二十日 職員結婚式参列
二十一日 新潮プラスチック照明(株)社長、専務面識の会
二十二日 立正佼正会寺泊教会記念式典参列の為燕市
二十四日 島崎橋竣工し渡り初め並びに祝賀会
二十五日～二十六日 議会正副議長委員長に同行願ひ国会省庁陳情ついで静岡県土肥町待養施設視察

七日 全定協北陸ブロックの陳情で上京
八日 出雲崎議会と村議会の協議会に列席
九日 治水砂防全国大会で上京
十日 理研電器社長から三輪晃勢画伯の絵画が寄贈、年末区長会
十一日 農業所得協会会長議夜与板警察署長の案内で管内の年末警戒状況を視察激励
十三日 少年剣道教室納会
十四日 再圃場整備会議
十五日 八幡林遺跡発掘指導の

年末雑感

文化庁外関係官庁の方々との面識会
年の初めに干支の壬申は昔から大乱があつた年と記憶の中にあつて、今年はどうだろうと思つた。本年も亦大乱といかなくとも、激動の連続であつた。国の内外情勢はストリートに連動し、県に於いても首長交代という、思わざる起伏の年であつた。

文化庁外関係官庁の方々との面識会
文字通り行財政執行はきびしかったが、ソフト面では良寛の心が全国にも知られるようになり、良寛の心の葛藤がNHKによってドラママ化され、八幡林では引続き発掘調査が平成五年も継続されることになり、全貌解明は一年延ばしとなった。来年ころは古代ロマンの幕明けがあつてほしいと思う。いろいろの希望をつないで新年を迎えたいと思う。

あなたからの rata (たより)



北国の雪の知らせを聞く頃になると、信濃川分水野積の川口に鮭がもどり始める。

四年目を迎えた鮭の人工孵化の準備作業が開始される。鮭の人工孵化を水槽飼育する事は、水質や鮭の習性から不可能であり、今までに例がなく無理と言われたが、寺泊漁協や水族館の協力で実験を重ねて、ようやく稚魚の放流までこぎつけることができたようになった。

今年も、自分達だけの手で授精から放流までを成功させようと今までの記録をもとに計画を進め、張り切っている。記録ノートから、雌の鮭の腹から赤い卵が出てくると、およそ三千から三千五粒、あまりの多くの数に子供達からおどろきの歓声がある。

「ウアー筋子がいっぱいだー」ドツと会場のみんなの笑声が広がる。

手早く雄の精子をふりかけ、ゆつくりと一粒をつぶさないようにいたわりながら真剣な表情で、もみじのような可愛い手が、かき混

体験から感動

そして豊かな心の広がりへ

菊地 武典さん(城之丘)

授精した卵が赤色から、みるみるピンク色に染まっていく。人工授精の一瞬である。

「きれいだなあ、これは宝石だ。」と、のぞきこむ。

「こんげにきれいな宝石の卵を筋子にして食べるなんて残酷だ。」先生「そうだね、こんなきれいな卵の命を、私達が食べて命を引き継いでいるんだから、ありがたき思つて大切にしろくちや。」

水温十度から十二度を保ち、三十から四十日の飼育観察活動が休日返上で続けられる。

やがて春の日が窓からさしこむ二月の中旬。

「鮭の子供が生まれてるぞー」朝一番に登校した子の知らせが校内に、ひびき渡った。皆いっせいに水槽をのぞきこむ、約一センチくらいの糸のような稚魚が、二匹、二匹と殻を破って泳ぎ出る。

「可愛いなあ、でも鮭は、かわいそうだ、生まれても、父さんも母さんいねえもんな。」

「お母さん、さがしてるかな。」先生「そうだね、たったひとりぼっちで大きくなるんだから、鮭は、強くてたくましいね。」

そして水ぬるむ三月中旬、十七

村史の窓(第四十七号)

熊野権現の古い棟札を保存されているということをおき、し早速伺いました。(写真)棟札は四枚で寛文十庚戌(一六七〇)年天和二壬戌(一六八二)年明和二乙酉(一七六五)年文久二壬戌(一八六二)年

いずれも高さ約四〇センチ、巾約一三センチの棟札ですが、今までご紹介してきた中では最も古い時代の棟札です。小林家では今も屋敷神様を祀っておられますが、かつては間口七尺、奥行一尺の社殿であつたものを、昭和四〇年頃に今の石造りに直されたとのことです。

さてもっとも古い寛文十年の棟札には「当新宮造立之願主者越州三嶋郡保内之内菟田村之住小林藤兵衛為除災長久家門繁昌令建立此一字安置諸神処也伏国神衆垂冥擁護令施司得二世勝利而已 日淵」と記されており、神社は新宮、造立者は小林藤兵衛で妙法寺管長の日淵上人の名が記されています。

次の天和二年の棟札には表に「奉勸請熊野新宮大権現鎮座」とあり、前同様に管長日晴上人の名と花押(印)が記されています。裏には「越之後列三嶋郡村田郷小林氏熊野新宮大権現鎮座ス(後略)……」とあります。

三枚目は明和二年の棟札で表には「南無神宮大権現擁護」とあり裏面には「飯高(日蓮宗学問所)百十一世、法王山三十四世日賢花押」とかかれています。

最後四枚目は文久二年で表には「奉勸請新宮大権現守護」とあり、裏には「法王山五十三世日退、再建主小林藤右衛門」とあります。これら四枚の棟札から次のようなことが推察されます。

寛文十年の棟札には「新宮造立の願主小林藤兵衛が此一字を建立諸神を安置」とありますから、あるいはこの年に建立されたのかもしれないと推察されます。今から三二年前ということになり、それから十二年を経た天和二年に「勸請熊野新宮大権現」とあり、この年に熊野権現を勸請したと読めます。

小林家は代々新宮の別称で呼ばれていたので、単なる屋敷神でなく多くの信仰を集めていたと思われまふ。いずれの棟札にも妙法寺管長の名があることも小林家が代々妙法寺と深い関りがあったことを物語っています。小林謹二郎さんの御協力に感謝しつつ、棟札の項は一応ここで終りとします。





二十歳の皆さん！
大人の第一歩は
国民年金の加入から

成人式の季節がやってきました。成人になられた皆さん、おめでとうございます。成人として新たに認められる権利はいろいろありますが、大人としての義務を負うことも忘れてはなりません。国民年金に加入することも、大切な義務の一つです。若い皆さんは、「年金なんてまだ先のこと」と思われているでしょう。しかし、若い皆さんにも老後は必ず訪れます。今や人生八十年時代といわれています。国民年金は老後生活の基盤です。長い人生に何の保障もないようでは困りますね。また、不幸にして病気やケガで働けなくなることもあります。国民年金は、老齢だけでなく障害や死亡についても年金を支給する制度です。

二十歳になりましたら、市町村役場で加入の手続きをしてください。なお、お勤めになっていて、すでに厚生年金や共済組合に加入している方は、届け出の必要はありません。新成人になった今、自分の生活設計の一つとして、必ず「国民年金」に加入しましょう。

一月中の国民年金

昭和八年一月二日から昭和八年二月一日生まれの人は、掛け金を掛け終わりました。

老齢基礎年金の繰り上げ請求を希望する人は、請求できます。

60歳以上65歳未満の人

受給資格期間を満たすことができない人、または過去に保険料の未納や免除があるため、掛け金をして年金額を増やしたい人は、任意加入することが出来ます。

任意加入を希望する人は、必ず役場の窓口へ届け出てください。

現況届を出す人

今月生まれの受給者は、現況届のハガキが郵送されてきたら、忘れずに早めに証明を受け、切手をはって自分で出しましょう。

期限まで提出しない場合は、年金が一時差し止めになります。ハガキを紛失した時は、国民年金係に申し出てください。

民生・児童委員委嘱される

民生・児童委員は、民生委員法により厚生大臣から委嘱され、地域福祉の増進をはかるため、自主活動ならびに協力活動を常時行い、住民と行政、福祉事務所と連携をとっています。困っていることがあったら区域担当の民生・児童委員に相談して下さい。

Table with 3 columns: 区域 (Area), 氏名 (Name), 電話番号 (Phone Number). Lists names and phone numbers for various areas like 上桐・三瀬ヶ谷, 北野・根小屋・荒巻, etc.

医師・歯科医師・薬剤師届出票は1月15日までに保健所へ

医師・歯科医師・薬剤師の免許をお持ちの方は、法令により12月31日現在の状況を1月15日(金)までに保健所を経由して厚生大臣に届け出ることになっています。

届け出用紙は、病院・診療所等に配布してありますが、その他の方でまだお手元に届いていない方は、長岡保健所総務課(☎33-4930内線23)までお知らせください。



1月の救急診療の御案内

1. 休日昼間の救急診療

Table with 2 columns: 区分 (Division), 診療科目 (Medical Department). Lists emergency services on weekends and holidays.

2. 休日夜間の救急診療 下記の病院をご利用ください。時間は午後6時から

Table with 4 columns: 診療科目 (Medical Department), 内科 (Internal Medicine), 外科 (Surgery), 産婦人科 (Obstetrics/Gynecology). Lists emergency services on weekends and nights.

3. 平日夜間の救急診療 下記の病院をご利用ください。時間は午後6時から

Table with 4 columns: 曜日 (Day of Week), 月曜日及び木曜日 (Monday & Thursday), 火曜日及び金曜日 (Tuesday & Friday), 水曜日及び土曜日 (Wednesday & Saturday). Lists emergency services on weekdays.

※お問い合わせは

長岡市健康センター内

(長岡市西千手2丁目5番1号)

長岡市休日急患診療所 ☎(0258)35-8255

長岡市休日急患歯科診療所 ☎(0058)33-9644

長岡市市民環境部健康課 ☎(0258)32-5000代

長岡市医師会

☎(0258)32-1900

長岡市歯科医師会

☎(0258)32-1430

1月の保健衛生行事

Table with 6 columns: 月 (Month), 日 (Day), 曜日 (Day of Week), 内容 (Content), 対象 (Target), 時間 (Time), 場所 (Location). Lists health events for January.

和島保育所

◆入所申請を受付いたします

1. 入所資格

和島村に住所を有し、なおかつ家庭において保育が困難な状態にある乳児(満1歳に満たない者)及び幼児(満1歳から就学前までの者)

2. 定員 120名

3. 申請受付

(1)日時 1月18日(月) 島田地区 } 午前9時~午後4時
1月19日(火) 桐島地区 }

(2)場所 保育所・事務室

4. 申請方法

役場住民課又は保育所に申請紙が用意してありますので、必要事項を記入の上、当日ご持参下さい。

5. 保育料について

現時点では平成5年度の国の徴収基準が決定しておりませんので、基準が決まり次第村の基準を作り、申請後それに基づき保育料を決定します。

《算定方法は、児童と生計を同じくする父母(祖父母が家計の主宰者である場合は除く。)の前年分の所得税額分の合計による階層区分による》

6. その他

不明な点がありましたら、役場住民課まで照会下さい。(TEL 74-3111 内線29)

和島幼稚園 入園願のお知らせ

平成五年度の幼稚園の入園についてお知らせいたします。入園の申し込みは早目にお願いたします。

◆入園できる子供は

昭和六十二年四月二日、昭和六十三年四月一日までに生まれた子供。

◆受付期間は

一月十六日と二月一日まで。

◆提出場所は和島村教育委員会へ。入園願の用紙と幼稚園に関する説明書は保育所を通じて子供の家庭へお届けいたします。

不明な点は、次へ

○教育委員会

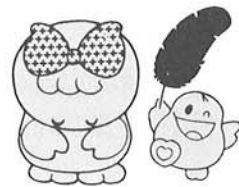
七四一三一

○幼稚園

七四一三六六八

今月の納税

- ※ 村県民税.....第4期分
※ 国民健康保険料.....1月分
※ 国民年金保険料.....1月分
※ 幼稚園保育料.....1月分
※ 保育所保育料.....1月分
※ 水道使用料.....1月分



赤い羽根募金にご協力ありがとうございました

十月一日から全国一斉に実施されました、赤い羽根共同募金運動につきましては、区長をはじめ、事業所、学校、婦人協議会、村民の皆さんの協力により次のように実績をあげることができました。

共同募金は、新潟県共同募金会へ納入し、平成五年度に募金の配分金が村社会福祉協議会に約九十三万円交付されます。

要援護者の歳末慰問金にあてられています。なお一部は、災害時の義援金として使用させていただきます。

共同募金

- 一、二〇六、七八八円
- 戸別募金八八三、八〇〇円
- 事業所募金
- 二四三、〇〇〇円
- 学校募金 四〇、七九八円
- その他 三九、一九〇円

○歳末たすけあい募金

- 三七三、八五四円

地域名	共同募金額(円)	歳末募金額(円)
谷	25,000	10,500
島	29,400	12,800
島	38,500	14,700
島	77,000	32,800
富	39,900	17,400
野	10,500	4,500
陀	21,700	9,300
瀬	15,400	6,800
畑	33,600	15,500
浦	39,200	16,000
沢	13,300	5,700
内	46,900	19,800
田	44,100	18,200
内	27,300	11,900
丘	52,500	20,100
高	64,400	25,900
桐	10,500	4,500
谷	30,000	13,500
野	14,700	6,300
屋	37,800	16,000
卷	16,800	7,800
田	27,300	11,700
央	39,200	16,800
上	44,100	19,200
下	25,900	11,350
端	21,000	8,600
下	15,400	6,600
町	17,500	7,500
町	4,900	2,100
谷	883,800	373,854



ぬくみ会忘年会

十二月十二日(日)ゆきわり荘ではリハビリ訓練を月三回続けているみなさんの忘年会をかねた集まりがありました。今回は日頃お世話になっている方々を招待するという事も目的でした。

雨がみぞれにかわり、寒さが一段と増した日でしたが参加者にとってそれはそれは、心も体もあたたかくなった一日でした。出席いただいた方からお寄せいただいた感想文からもそのことがしみじみと伝わってきます。

係ではこのような小さな福祉関連の集まりを地域で育てていくのがこれからのみんなの役目のひとつだと思っております。力をあわせればチリも積もって山となります。今年のアルミキャップ収益金は、なんと総額一万八千円にもなりました。



「こんな、あたたかみのある、リハビリの会がある、安心して年をとっていきけるわ。」

小林イツさん

「ぬくみ会忘年会に参加して」

ぬくみ会、名前の様にあったかい会、心と心のふれあうあったかい会。私はこのぬくみ会の忘年会に参加させていただきました。村田部落には二人の会員がおられます。花井清一会長と小林熊五郎さんです。小林さんはまだ若い時に病気になれ、言語、手足が不自由です。でも二人共がんばり屋でいつもいつも頭の下がる思いです。

小林さんはもう八七歳になったといっておられますが時代にあった新しい考え方に、私はとても尊敬しております。常に今日より明日、明日はきつといい事があると一生懸命リハビリするんだと、天気の良い日には外へ出て、杖をついて私の家まで遊びに来てくれます。私の小さな庭を眺めて、この小さな木々にも皆、命があるといっ、私とお茶を飲みながら色々話をし一服して帰っていかれます。

「児童手当制度をご存知ですか？」

児童手当は次代の社会をなう児童の健全な育成と資質の向上に資することを目的として支給される手当で、三才未満の児童を養育している方で、前年の収入が一定の額未満の方に、申請の翌月から支給されます。

平成四年一月の法律改正により、手当の支給の対象となる児童の範囲が、従来までの第二子以降から、新たに第一子まで拡大され、平成三年一月二日以後に生まれた方から該当するようになりました。

また、手当の支給期間についても従来の義務教育就学前までから三歳未満に変わりました。なお、平成四年一月一日より前に手当を受給していた方については、次表のように段階的に手当が支給されなくなりますので御注意ください。

支給の対象となる児童の生年月日	支給期間
昭和63年1月1日～昭和63年12月31日	平成4年12月分まで支給
昭和64年1月1日～平成1年3月31日	4歳の誕生日の属する月分まで支給
平成2年1月1日～平成2年3月31日	平成5年12月分まで支給
平成3年1月1日以後に生まれた児童	3歳の誕生日の属する月分まで支給

支給期間に関する経過措置

平成四年十二月分まで受給期間が終了した方は、十一月一日指定された金融機関の口座へ最終振込みをいたしますのでご確認ください。

なお、ご不明の点は役場住民課児童福祉係へお問い合わせ下さい。

財産をもらったとき

個人から財産をもらった時は、もらった人に贈与税がかかります。なお、会社などから財産をもらった時には、一時所得として所屬税がかかります。

「贈与税のかかる財産」

個人から財産をもらった場合には、もらった現金、預貯金、有価証券、土地、家屋、事業用財産、貴金属、宝石、美術品などすべての財産が課税対象となります。

なお、親子や夫婦など特別な関係にある人との間の金銭貸借にはその返済について「ある時払いの催促なし」などのものが見受けられますが、このように、形式的には金銭貸借になっていても、実質的に贈与と認められるものについては贈与税の課税対象となります。

「贈与税の計算」

その年の1月1日から12月31日までの一年間に贈与を受けた財産の合計額が60万円を超えた部分について贈与税がかかります。詳しくは、長岡税務署へお尋ねください。

(公三五―二〇七〇)

この小林さんから一度、ぬくみ会に出席してくれないかと誘われ、私なんか何にも出来ないからねーと言って断ったんです。でも、度々いわれて、「では一度だけね」と行ってみたら、会の皆さんがみんな障害をもちながら、一生懸命がんばっておられます。その姿をみて、「私はまだ丈夫なんだ。今の内に少しでも皆様の役にたてたら」と思いました。

十二月十二日は村のぬくみ会の忘年会。素晴らしい忘年会でした。リハビリの人達も一生懸命に野菜の皮をむき、きざみ、みそ汁の用意をされ、又、アルミキャップを集めて下さった人達も招待して劇をやってみてくださいました。一人一人が台本を見て、言葉の不自由さをのりこえ力を合わせてひとつの劇ができあがりました。ペテランボランティアの方々協力のもとに、やる人、みる人、皆、涙でました。立派でした。このかげには保健婦さんの大変なご苦労がある事をよくお察しいたします。感謝しております。お昼には、みんなで作った、実だくさんのみそ汁とお弁当をいただき、残りの時間は歌におどりと皆さん楽しそうでした。私達も少しは役にたつかなと自己満足しております。

これからも、あったかい、気楽なぬくみ会がどんどん大きな輪を広げていくようにお願いいたします。



冬道の

安全運転5則

- ① スピード10キロダウン、安全速度を守る
- ② 急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど急激な操作は避ける
- ③ 車間距離は通常の2倍以上とする
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに除行する
- ⑤ 4WDの過信は禁物